

に美しく描き立てられてゐても空虚で色どりもなく死んでゐるのです。

といふのは私達の事業も私達の個々の経験によつて規定され、個々の行爲と更に又悲喜苦樂交々の日常がつまり生活の全内容であるのですから、しかもなほ更に個人的なものは表面に出して言ふことの出来ない所にひそんでゐるのです。それは誰にも他人には開けて見せなくてもよい一番奥の部屋にあるのですから。

しかしこの一文が元來若い人達のために書かれたのですから、若しその人達に有意義であれば一つだけ言つておかねばなりません。私はこれをアメリカで新聞記者が私に再三持ちかけて來た質問に結び付けてお話しませう。

それは丁度今日一般に社會生活に乗出してゐる女性が如何に考ふべきかを明かにするものでせうから、即ち何故、私は結婚しないかとの質問です。決して主義としてさうしてゐるのではないのです。人生の最重要な問題も生きた人間は何も確定した理念で決定するのではなく、感情によつてこれを決めるものなのです。相互の愛情と信頼に結ばれた正しい結婚でさへあれば、結婚と母たることは女性の人生に於ける王冠たり得るものであると私はいつも確信してゐます。しかも私は今日もなほ假令この様な理想に

は遠い結婚であらうともなほ且つ大多數の女性には最善の道であると信じてゐます。何となれば、自分が責任を負ひ、完全に獨力で人生を築き上げて行くことは一般の女性には力の及び難いところだからです。一方しかし精神的で、道徳上實踐能力のある女性もあることだから、これらの人にとつてはこの重大な人生の岐路に於ける妥協は精神的死を意味し、理想的に實現しない様な結婚は、

低級なエネルギーの満足のために高級なエネルギーを犠牲にすることとなります。かうした女性にとつては愛も信もない結婚をするより獨身で通した方が千萬倍よいわけです。かうした女性にとつて必要なことはさういふ自己の運命を締めて受取るのではなく、自分から攫み取り、積極的に築き上げて行くことです。さう出来さへすれば人生はそのまゝ、完きものとなりませう。又かうも言へるかも知れませぬ。使命を完うした人生となりませう。何となれば、一方に於ては女性が男性と協力してのみ果し得る任務もあれば、又他方獨身の女性のみが仕遂げ得る使命もあるのですから。フーレンスナイチンゲールはこの様な女性の運命について言つております。「人の心の秘密の扉を開き得るほどの強い感情と、その感情を統御し得るほどの強い意志と、これが現世の王國へ、將又永遠の王國へ到る鍵であります」。



職業から見た無宿者

郡 昇 作

(一)

つて行きます。

最近知り合ひになつた七四〇名の無宿者に就てその職業に關係する方面のことのみを申し上げますならば、これ等の人々が保護施設へ頼つて來た時には既に無宿者に特有な職業に従事して居つたものが六八%あり、三二%が乞食や屑拾に身を落すことも出来ず、決心して自殺することも出来ない、身も心も行き詰つた氣の毒な状態にあることを發見致しました。此の二三%の人々の前職は百姓、漁師、商人、店員、會社員等であつて、病氣になつたり、失業したりして(不況時代は主として失業の爲、好況時代は主として病氣、老衰、孤獨等の爲)宿屋住居も出来なくなり、冬は寒風に公園や橋の下の塙を追はれて温い保護施設を頼

勿論此等の人々は無宿生活に入つて間の無い人が多く、病人は少しも早く病氣を治し何かの職に、成可ならば前職に明日からでも就きたいものと只管に希つて居り、病氣以外の理由で顛落して來た人々は一日も早く更生したいものと焦つて居る人々ばかりでありまして、幸にもその大部分が一ヶ月以内に更生して行くことが出来たことはまことに喜ばしいことであります。

(一)

或る保護施設では昭和拾貳年中に一〇四名が慈惠病院へ收容されて居ります。保護施設へ辿り着いたその日に入院の手續を取つて戴かねばならなかつた人や、二日後に入院

さして載かねばならなかつた様な重態の人も澤山ありました。無一文では醫師の治療を受けることも出来ませぬし、檻穽々々では相手にして呉れる人もありませぬ。今夜死ぬか明日死ぬか解らぬ者を泊めて呉れるところもありませぬ。勿論親類も身頼もありませぬ。人に聞き傳へて最後の安息所として保護施設を頼つて行くのです。

(二) ノ 二

従つて此等の人々は保護施設でその給食を有難く受け、醫師にも無料で診療を受けて、病氣全快後は職業紹介所や仲間を経て就職したり、保護施設で直接に世話になつて更生して行く人も澤山あります。勿論一部の人は、同宿者の温い葬送を受けたり、死んだ後までも皇國の爲にと屍體の剖検を願出でて、その目的を達した後はその保護施設の佛壇で懇ろな供養を受け、その施設の墓地で、世話を受けたことのある看護婦様や友人に送られて埋葬せられます。

(二)

無宿者に特有な職業に従事して居たものが六八%あると申しましたが、之等の人々の職業と申しますものゝ中には乞食、奔走、巡禮、屑拾等の職業とは云ひ難いもの、親兄

弟のあるものや、親兄弟の居住するところでは恥かしくてとても出来ない、収入の少ないもの、鮫鱈、先曳、人夫、手傳、仲仕、土工等の体力が資本で之を失へば直ちに無宿生活に顛落せざるを得ないもの等に従事して居るものがあります。

(二) ノ 一

人夫、手傳、仲仕、土工等は主に屋外仕事であつて、雨が降れば休みであります。三日も降雨が続けば貯蓄のないものは直ぐに米代にも差支へてどん底へ落ちて参ります。工場の職工の様にも長期に亘つて療養し得る温い特別保護法に依つて保護されては居りませぬ。實際に於て彼等を保護する爲の特別法が未だに一つもないのです。強ひて求めますならば、それは彼等が無宿者に顛落後に働きかける至極消極的なものです。

(二) ノ 二

又工場の職工や店員やサラリーマンの様に常備でもありません。彼等は臨時的な常に失業状態にある職業に従事して居ります。工事が終ると次の仕事を探さねばなりません。北海道の道路工事にでも、朝鮮の鐵道工事にでも、カ

ムチャツカの蟹取りにでも、南洋の鮪漁業にでも應募して出稼ぎます。酒と博奕とより外に何も知らない怠け者だといふ人もありますが、生活の爲に働きたいから働きます。仕事さへあれば体力のあるものは如何なる避遠の地へも参ります。『監獄部屋へ入れられて逃さうとすると監視人に銃殺される』そんな噂されて居るところへも元氣に出稼ぎます。岐阜で水力電気工事に従事して、工事が完了したので静岡で鐵道工事に従ひ、名古屋で建築工事や道路工事に従事したり等して鐵道線路と道路に沿つて仕事を求めて行く者もあります。無宿者の移動は主として斯んなにして行はれます。多くの軍隊を、人々を、自轉車を、自動車走らせる道路、汽車を運ぶ鐵路、道、府、縣廳、市役所、兵營、飛行場、大小の橋梁、水力電氣發電所、劇場、ホテル、銀行、百貨店其他の巨大なビルディング、斯うした立派な建設工事でルンペンに顛落する恐ある人々やルンペンと人々に卑まれて居る人々の助力を借りないで出来たものが一つでもあるでせうか。これ等の仕事は牛馬だけでは出来ない仕事です。機械だけでも出来ない仕事です。これ等の仕事には牛馬や機械では出来ないもの、牛馬や機

械でしては經濟的に引き合はない仕事があります。さうした尊い仕事に彼等は全生命を打ち込んで従事して居りましたし、従事も致して居ります。朝早くから夜遅くまでせつせと働きます。ですから此等の人々の楽しみは湯に入ること、夕食を取ること、睡眠をすることです。雨が降つたり仕事にあふれたりしたときには博奕より他にすることを知らない人があります。夕食のときに酒を呑むこと、睡眠までの少しの時間をつまらない遊に送ることが最大の楽しみです。腕節の強い刑餘者が彼等の指導者であることもあります。喧嘩の多いのも過激な労働が彼等の神経を焦たせるためでもあります。然し何と言つても彼等に取つて最大の不幸の一つは百貨店の店員や、健全なる工場の職工の様にも道徳的に、宗教的に善なる指導者を持たない事にあると考へます。勿論貧乏な家に生れて充分の教育を受けることが出来なかつたことも斯うした日稼人になつた一つの原因であり、両親や兄弟等の温い保護者が獨立するまでに死んでしまつたこともその最大原因の一つです。中には母の胎内にあるときに父に死なれた人もあります。三歳のときに両親に死別して其後はあちらの親類やこちらの親類で育て

られた人、六七歳以後は子供の守や、下男代りに使用せられた者もあります。善い指導者の無かつた彼等は職業の選擇に當つても考慮を拂はず、又心配して呉れる人も無かつたのです。保證人がなかつたり、年が行き過ぎて居る爲に就職も出来ず、困り抜いて居るときに、田舎から飛出して來て途に迷ひ、食に飢えて居るときに先づ彼等の目を引きつけるものは人夫募集の貼紙です。電柱や板塀の募集廣告です。船着場や公園や繁華街に網を張つて待つて居るのはボン引です。保證人がなくても喜んで迎へて呉れます。然し勞働下宿では如何に働いても食事代や仕事着代を引き去ると借金が残ります。借金が出来ずに濟めばよいと云ふ人もあります。ですからこれ等の職業の常備化と、保護法の制定と、彼等の教化と、指導者の選定と、宿所の改善が彼等に温い家庭を與へることと同様に望ましいことだと考へられるのです。

(二)ノ三

又乞食、禮巡、屑拾等は恥かしくて出來ず、さりとて人夫、手傳、仲仕等をする體力の無い虚弱な人達は他に適職を發見することが出來ず行商人となつて僅かの収入で漸く

露命を繋いで居ります。或る者は山蟹を捕へて來て賣つたり、竹蜻蛉を拵へて賣つたり、石鹼玉の行商を屑車を改装して致して居ります。マツチ、タワシ、石鹼、針、ノートル、ハンカチ等の行商をして居る者もあります。中には缺食勝の爲に榮養不良に陥り結核となり、一寸歩いても息切れがして額からは脂汗が惨み出る程なのに飴の行商をして居る者もありました。飴だけでは賣れないので自分で竹笛や口中笛を作つて添物として居りました。これを買つた子供に結核が傳染するのは火を見るよりも明かです。玩具の行商や飲食物の行商に關しては教育的見地からのみでなく、衛生的見地からも充分の注意が肝要であると考へます。

(二)ノ四

これが爲には先づルンベン階級と云はれて居る人々の救済が先決問題であると考へます。一文菓子、ナツト賣り、煮豆行商、餅賣り、そうした人々は窮迫した榮養も不足勝ちの人々で、病氣に對する抵抗力も少く、衛生に關する智識も少い、恵まれない人々です。無宿者は怠け者だと云ふ人があります。怠惰の結果無宿者になつたのだと云ふ人が多

いのです。怠惰と道樂の結果だと云ふ人ばかりです。成程多くの無宿者の中には多少の怠者はありませう。確かに怠者も居ります。然し晝間ぶら／＼して居る者全部が怠者ではありませぬ。或る者は夜間一睡もせず働いて居ります。他の多くは病氣に苦んで居ります。結核に苦んで居ります。元々虚弱であつた彼等は睡眠不足と缺食と衰弱の爲にテーベになつて次から次へと死んで行きます。

朝元氣そうに働きに出て行つたものが晝頃に路傍で死んでゐたことが何回となくありました。晝間元氣に働いて居たものがその夜の中に死んでゐたこともありました。座つたまゝで死んでゐたものもありました。死ぬる程の病人であり乍ら、死ぬるまで働き抜く彼等が怠者と云へるでせうか？ 彼等が怠者に見えるのは病氣の爲です。體力がない爲です。屑拾でも過激なのです。ヨチ／＼とチンドン屋の旗持がやつと出來る程度の健康より持ち合はせて居ないのです。永續性がないのも、根氣がないのも、動作が敏活でないのも病弱の爲です。徴兵検査の結果を見ましても丙種や丁種の人が多いのです。甲種合格の人は殆んどないのです。ですから無宿者の中のある者は廣告ピラと共にテーベ

を配つて廻ります。行商してテーベを安價に賣つて参ります。煮豆に、駄菓子に、餅に、氷水に、アイスクリームに、笛にお添物としてテーベを置いて参ります。それに行商で得た銅貨は翌朝には銀行の窓口へ入つて行きます。病氣は撲滅しなければならませぬ。殊に結核の撲滅は最も大切なことです。それが爲にはルンベンを撲滅しなければならませぬ。『穀潰しは早く死んだ方が國家の爲だ』と御考へになつて居られる方々の賛成せられる意味のものではありません。結核を撲滅することによつて、無宿者に顛落する者が少くなると云ふのです。それ程に彼等の間には結核が多いのです。國民健康保險法と國民體位の向上は此上もなく大切なものだと思はせられます。同様に老衰者、虚弱者、病弱者、不具者等で身頼も何もなく乞食や屑拾に依つてより以外に生活の途の無い者の爲に農園や山林の贈物があつて欲しいものだと思います。

(二)ノ五

行商人と同様な意味で人の嫌ふ汚穢な煙突掃除や靴磨やペンキ塗、砥屋、灰買、屑買、古繩買、古筵買、古瓶買等に従事して居る者もあります。

(二)ノ六
 チンドン屋の旗持、ピラ配り等の廣告人夫は屑拾や、行商や、灰買や、人夫、土工等に比較しまするにそれ程に恥かしい思をしなければならぬ仕事ではありませぬ。収入も比較的によいし、體力も要りませぬ。『樂で金が貰かる』とて無宿者の最も好んで従事する仕事です。彼等は廣告仕事等の無いときのみ屑拾に出て参ります。

(二)ノ七
 以上を要約致しまするならば無宿者は體力さへあれば資本金の要らない仕事か、資本金も體力も不要な職業、収入の少い仕事、恥しい思ひをしなければならぬ仕事、穢く汚れる仕事等に従事致して居ります。一言にして申しまするならば人の捨て、顧みない職業、鮮人も女子も少年も嫌つて顧みない仕事に従事して僅に口糊を凌いで居ると云ふことが出来ます。

(三)

次に職業を

- (一) 事務的のもの (事務員) 頭腦的 指導的
- (二) 商業取引のもの (店員) 功利的 仲介的

(三) 生産關係のもの (職工) 熟練的 技術的
 (四) 其他 (日稼人) 臨時的 失業的
 の四つに分つて考へてみまするに無宿者達は第四種の職業に屬する人々であると云ふことが出来ます。教育のある人、指導的地位にある人、智的事務に従事する人々はルンペンに顛落すること少く、たま／＼あつたと致しまするとインテリルンペンとして喧ましく云はれます。それとてもやはり悪い家庭に育つて現在家庭を失つて居るか、精神的にか肉體的に大なる缺陷のある人です。

(三)ノ一

第二種の店員に屬する人達にも無宿者に顛落する人は少い様です。相手客の心的状態を一時にして掴むもの、小さい丁稚時代から叩き上げた商人、長時間の店務に精勵して來た頭腦のしつかりしたものには顛落する餘地が、隙が少しもないのです。何人でも出来る商店雑役の様な下層店務に従事して居た心身に衰へはてた極く少數が顛落するだけです。

(三)ノ二

第三種に屬する熟練工は精密な計數的頭腦が必要である

です。それではなければ老衰者か不具者なのです。

(三)ノ三

し、終日室内作業に従事しますから、體力も強壯でなければなりません。心身其の孰れかに缺陷のあるのが無宿者です。心身共に健全な熟練工には見習を経て一人前になつたものにも、學校を卒へたものにも顛落者は無いのです。何年経つても一人前になれない見習工、粗雑で細かい仕事が出来ない不器用な人、さうした人々や、工場雑役より出来ない人に無宿生活に顛落する人があるのです。器用で頭の良い人は工場雑役に入つても一年か二年で一人前の職工になつて浮び上つて行きます。

或る保護施設で粗雑なセメント袋の再製を授職事業として實施したことがありますが、一般地方工場の三倍の工賃を支給して一日に六拾錢位の収入を得る能力しかないものばかりでありました。地方の工場では普通請取で壹圓參拾錢位の日收を擧げて居ります。ですから若しその保護施設と同等の工賃を支給致しますならば、參圓六拾錢の収入を得ることが出来るわけです。運動感覚も視神經も鈍つて居るのです。このことから考へまして熟練工は無宿者になることが無いこととなります。前職が職工といふものも、鐵工と云ふ者も大部分は見習工程度のものか不熟練工なの

第四種に屬する職業、即ち手傳、人夫、仲仕、鮫鱈、坑夫、立ん坊、行商人等に屬する又は屬して居た人々が無宿者に顛落して居ると申しましたが、之等の職業は體力のみが必要で、指導的立場にある技師、技手、熟練工、大工、鍛冶屋等の指圖によつて働けばよいのであつて、頭腦を働かす必要少く、頭腦を働かさなない方が好いときもあるのです。頭腦を働かすことが少いのでそれだけ自然と頭が悪くなつて行きます。教育の必要がないので教育の無いものが自然と集つて参ります。尋常又は高等小學の卒業者かその半途退學者が多いのです。他の方面では働けないものや、収入を期待出来ないものが従事致します。ですからこれ等の職業に従事して居たものに無宿者が多い理です。我國では結婚するにしても生白いすんなりした指に爪でも長く生した男子をと希望する女が多いやうです。それは樂をして居ること、勞働をしないこと、教育のある生活の豊かなものであることを物語るからです。掌の厚い、節くれ立つた指の男に女は振り向ふとも致しません。腕節の強いこと

は労働者であることを證據立て、労働者であることは無教育と生活の不安を物語るからです。ナチスの青年の様に教育のある者も、地位の高い者も總てが労働に奉仕してその體験に依り、これ等の神聖なる労働に従事する者の教化と地位の向上と、待遇の改善を圖る可く努力して欲しいものだと考へます。人糞を汲取る人も入用です。どんなに低い仕事でも、どんなにつまらない様な職業でもそれをする人がないとは社會は完全な有機體としての活動は出来ませぬ。教育があるから労働は出来ないと云ふことはありませぬ。監督が刑餘者でなければならぬと云ふこともありませぬ。

(四)

前職を調査して出来上つた表に就て考へて見ますに、小學校を卒業して最初に従事した職業には店員もあり職工も相當にあります。然し主人の都合や、家庭の事情や、友人との不和や、主人との意見の相違や、仕事そのものに厭がきて何となしに嫌になつたりして辭めたりした後には先づ彼等が入つて行く職業は自由労働です。何としても就職出来ず、明日の食費にも困るとき、溺れる人が藁を掴む様な

困窮した状態にあるとき彼等を人夫や手傳の仲間にする／＼と引つぱり込んで行くのはボン引です。一度此の自由労働に従事すると路傍で行き倒れるまで足拔の出来ない人が多いのです。前職の如何に拘らず無宿生活に入つて來るまでには自由労働者としての經驗を最も永く有する人々となつて居ります。勿論生育家庭の職業が自由労働である人も相當にあります。

(四)ノ一

ネオンサインと女とが誘惑するのは都市のサラリーマンや職工や店員のみではありません。料理店や喫茶店の追廻、皿洗の仕事等は田舎の男子の最も好むものゝ一です。然しこれは少し料理でも覺えると馬鹿らしくて出来ませぬ。睡眠も不足します。それに貰つた給料は綺麗に使つてしまひます。料理人として雇はれて行つても以前から居る下級の者よりも腕が劣ると辭めなければなりません。これ程移動の多い職業は少いのです。臨時的な仕事と言へる程です。休日もありませぬ。休む時には助を一日雇つて休みます。失業の状態にあるのが助に出る人々です。ですから無宿生活に入つて來る人々の中で料理人や飲食店の雇人が

相當目立つて多い。一度無宿生活をするに困つたときには又此生活に入つて参ります。繁華街の忙しい一日、十五日、日曜日、祭日等には助としてルンペン氏が大手を振つて雇はれて行きます。知らずに一流の料理店でルンペン氏達の手になる料理を珍味かなと食つて居る紳士が澤山にあるわけです。今日では飲食店の雇人は女給も仲居も料理人も主として營利の専門紹介所で紹介されて居ります。然るに社會惡の一つは彼女達の働く酒の社會で醸成されて居ります。料理人や女給や仲居の向上を圖り、そのよき相談相手となり、より健全なる社會を建設する爲に飲食店専門の職業紹介所を設けて娼妓や無宿者に頭落しない様に保護して戴けるならばとさへ考へさせられるときがあります。

(五)

前職や生育家庭の職業に農業、漁業等の自然を相手とする地方の職業の多いことは驚かされる程です。田園地方の落伍者もあります。一家没落して都市に身を隠すものもありませう。又限度のある農村の土地には、耕作に必要な人員にも限度があります。ですから二男坊、三男坊で分家して生活の保證を與へらるゝものは別として、左様でない二男

坊、三男坊や時には家督相續者である人までが農村の過剩人口として必然的に都市に生活を求めねばなりません。一家を救ふ爲にも、農村を救ふ爲にも都市に出稼をする必要があります。確かに都市には田園地方の過剩人口の養育所であると云ふことが出来ます。都市にはそれだけの餘裕があり、仕事もある時代があります。屑もあります。食物もあります。英京ロンドンでは健全な田舎の一家も都市へ來ると三代とは續かないと云はれて居ります。地方落伍者が都市の成功者となることの難かしいことは勿論であります。

(五)ノ一

田園地方のものが都市へ集つて來る理由は單に右の様な事情のみではありません。教育の効果や報道機關の効果も考へねばなりません。學生が修學旅行に出て泊るところは主要驛の附近か繁華街方面です。宿屋は此の方面に多いからです。例を大阪にとりましますならば大阪驛前か道頓堀の宿屋です。こゝに泊つて晝は百貨店、手形交換所、造幣局、大阪城、四天王寺等の昔からの文化の精華や近代文化の花の如き明るい方面のみを見物して廻り、夜間は千日前や心

齋橋筋に歩いてシヨウインドウやネオンサインに生涯忘れ得ない印象を焼き着けられます。修學旅行に於て見聞した華麗な都市の魅力は永遠に少年の脳裡から消えませぬ。ですから小學校を卒業すると彼等は夢遊病者の様になつて都市の文化を慕つて参ります。そして一度都市に足を踏み入れると二度と文化の低い田舎へ歸るまいと決心します。淋しい田舎では辛棒が出来ないので。乞食になつても屑拾になつても都市に嚙り着かうと致します。

(五)ノ二

又映畫や新聞や雑誌による都市の紹介は田園地方の人々に限らない憧憬の念を起さしめます。都市の人が『お上りさん』と特に呼ぶ田園地方の老人旅行團の都市訪問談はどんな影響を村人に與へるでせうか？ 之等の人々は今まで一度も見なかったものや、耳にしたこともないものを見て歸ります。巨大なビルディング、百貨店、エスカレーター、公告文を書くオート人形、アドバルーン、總てが珍らしいのです。天王寺公園や四天王寺でルンペン氏に出遭つても氣附く人は少いのです。たま／＼氣附いた人があつたと致しましてもその人は大阪にも斯んな人間が居る

のかと思ふ程度で、彼等が歸郷しての都市訪問談が村の青少年をして斯んな人間に陥れることがあることに少しも御氣附がない様です。

(五)ノ三

同様に都市で成功した者の錦を飾つての歸郷談は村の青少年に都市へ行けば必ず成功することが出来るのだといふ考を與へます。然し襪襦を飾つて完全な無宿者に成り下つて歸郷するものゝないことや、路傍で行き倒れて灰色の墓穴へ消えて行くものゝあることを少しも御存知がありません。

實際上に於てルンペン氏の六十パーセントは少年時代に既に都市へ一度足を踏み入れたことのあるものなのです。

或る少年は大阪驛へ着くなり大阪で一番賑やかなところは何處ですかと尋ね、千日前と新世界を教へられて南下し天王寺公園で日が暮れて困り果て、無一文であり、就職口も定つて居らず、着阪したその日に無宿者の仲間入りを致しました。

(五)ノ四

田園地方の青少年達は都市へ出る前に、小學校の校長や出、阪和電車線路に沿つて同夜は大和川畔に一泊、九日夜前記中野町の田園で大阪入り第一夜の夢を手製のキャンパに結ばうと支度してゐたところと分つた、早速親許に引渡すことになつたが少年達は同署の保護室に入れられて『おいらはあくまで大阪に留つて出世して歸らんや』と頑張つてゐる。

(五)ノ六

昭和拾貳年の大法輪といふ宗教雑誌の六月號には次の様な一女性の告白文が載せられて居ります。

昭和拾貳年參月拾日の大阪朝日新聞には次の様な記事が出て居ります。

都會に落ちてゐる
お金を拾ひにゆかう
小學生四人テントで青雲の旅
笑へぬ少年の夢

童心に映つた悲しいインフレ像。九日午後五時平野署中野派出所高木巡査が部内を巡回中、住吉區中野町の田圃に手製の天幕を張りキャンピングしてゐる田舎風の小學生達を怪しみ事情をきくと、この少年達は大阪府泉南郡山直町田治米、西岡松三郎次男山直小學校高等科一年生博君、(十四年)同三男同校五年進君(十三年)同町湯屋岸田澤次郎次男同校高等科一年清君(十五年)同町藥局西川竹造三男同校高等科一年正治君(十五年)の四名、大阪の街の中には百五十萬圓の小切手が落ちてゐたり鐵は錆てゐてもどえらい金になる話など、景氣のよい話を聞いたのでおいらも一つ大阪へ出て鐵や銅、亞鉛板を拾うて資本をつくり商賣をはじめて出世しようとして子供心に淡い夢を描き、打つて八日朝自轉車に白米一斗、醬油、砂糖、から釜、鍋、着換へまでく／＼りつけて家

時にいそぐ鳥の一羽二羽、遠く大空のかたに天使のやうに飛び去りゆく黄昏時、母に逝かれた不幸な我身のことかしみ／＼と思はれて、不覺の涙は頬をぬらすのでした。また時々よこして下さる友達のお便によつて、××さんは大阪の百貨店に、○○さんは神戸の會社といふやうに、多くの友よりそれ／＼華やかであらう都會の職業戦線で働いてゐることを知らされ、その都度自分もあゝいふやうに、楽しく多くの人と交つて華々しい活動がしてみたいと、田舎の女の都會へ憧れるあの平凡な情みに、私も惱まされたのでした。さりとて老いたる父とまた兄と弟とを残して家を出ることはどうしても出来ず、都會にあこがれつゝ淋しくまた苦しい日を、田舎の片隅で送らねばならなかつたのでした。かうして悲しい味氣ない月日を、何の得る處もなくまた何の感謝もなく過してゐました。そして遂に『自分こそは、この世の中で一番不幸な女ではなからうか』といふやうな、突きつめた考へを抱くやうになりましたが、その時不思議にも『いや／＼決してさうではない。世の中にはまだ／＼恵まれない生活に甘んじて、楽しく力強く生きて行つてゐる人が數多くあるのである』といふことをしつかりと自覺したのでした。

この僅かばかりの光明を見出した私は、それから深く／＼考へました。そしてこの不幸を乗り切つてこそ、はじめてそこに

新しい道が開けるのだといふことを覺りました。それからといふものは、これまであまり心を寄せなかつた修養的なお話や、有難い話等が俄に聞きたくなつて來ました。この時だ、この時を逃がしては再び更生の道を開き得ない自分だと悟つて、その時を機會に次第に自分の氣を落ち着け、誤つた理想を打ち棄て、一途に我が心の修養に努力するやうに致しました。働く事の楽しくなつたのも、この時からでした。むやみに都會をあこがれてゐた自分がつくづく恥かしくなつて來たのも、この時からでした。そして與へられた使命に誠を捧げ盡くしてゆくことが、即ち自分の全生命であると思つたのです。

働く事の幸福感を沁々味ふといふことが、これが即ち信仰の境地だと思ひます。迷うて迷うて、迷うた揚句本當に自分の歩むべき道を悟る。これこそ信仰心の現はれであると思ひます。修行を積まれたお偉い御方のお悟り等、到底私の考への及ぶ處ではないでせうが、いたらぬ私としてみませば、この自分の使命に向つて正しく歩むといふことを自覺したといふ事は、私にとつて最大の目覺めであらうと思ひます。

悲しみの沼で喘いでゐた私も、かうした光を見出してからはすがすがしい田舎の空氣が有難くなり、かうして佛様の御前で母なき後も無事に生活させて頂く事が何よりの感謝となり、そして楽しい生活は即ち感謝の生活であり、感謝の生活は即ち信仰の生活であることを體験致しました。今日では日々の業務が楽しく、一日／＼と力強く朗らかに、明日への希望に輝きつゝ暮して居ります。

瀬戸内海の空氣は春と共に清く、また私もこの大自然の恩恵と佛様の恩恵に恵まれて、健康にピチ／＼と張り切つてゐます。拙ない體験でありまして、信仰の體験といふさうした大きな體験では御座いませんでせうけれども、これが私の只今の人生觀であります。そしてこれによつて私は苦しい生活から救はれたのであります。

(五)ノ七

以上の外彼等が都市へ集まつて來る原因には斯んな事情もありません。大都市では工場主も商店主も、うぶな、生活程度の低い、悪い雇傭條件にも満足し、(低い賃金、悪い食事、長時間労働、過激な仕事、汚穢な仕事にもよく耐へる)永續性のある田園地方のものを喜んで迎へます。

(五)ノ八

殊に今日の様な非常時に際しましては工場方面に於て大都市は従事員の不足を來して居ります。それは熟練工の争奪を禁じて居る程度のものであります。田園地方から少年、青年、壯年の人達がどん／＼呼び寄せられつゝあるのは此の間の事情を物語る一の現象で、今日では大都市には不況時代の様に空家が殆んどありません。『二階貸し』の貼札も見當りませぬ。それで保證人の無い人であつても、不平の多い人であつても、適應性の少ない人であつても、頑固な人であつても、厭気な人であつても、反抗性の強い人であつても、短氣な人であつても、相當の年齢の人であつても、酒癖の悪い人であつても、其他色々の個人的缺陷のある人であつても、少々虚弱な能率の上らない人で

あつても足腰の立つ無宿者は一人残らず産業の第一線へ招集せられて活躍しつゝあります。自分の力といふよりも社會的、國家的事情に依つて必然的に更生せしめられて居ります。ですから若し支那事變が終つて、平和が東洋に歸つて來て、そんな事態は生じないと思ふが、不況が襲來したり、軍需品の生産が中止せられたりするときには、此等の人々は眞先に失職して公園や橋の下の塹に歸つて來る人々です。戦後獨逸は労働奉仕團を組織して國を安きに置きました。我國では全國各地に、とりわけ師團の所在地に軍需工場、其他の必要な施設をして除隊軍人のみでなく、熟練工や自由労働者をも失業することのない様に、考慮が拂はれて欲しいと思ひます。同様な理由で社會事業施設の擴充が今から成されて如何なる事態にも即應出來る様準備が出來て居てほしいと思ひます。

次に職業上の役割と申しますか、區分と申しますか、或は重要性とでも申しますか、その人が現に働きつゝあるか何うか、如何なる職業に従事しつゝあるか、その職業が重要であるか何うか、何人にもなし得るか何うか等から考へてみたいと思ひます。

(六)ノ一

現に働きつゝある人を第一線の現役群と致しますると、失業者群は豫備群と云へませう。無宿者は此の豫備群から更に第二豫備群に編入されて居る人々や、産業の第一線への應召を希望しながらも、哀れにも、益々第一線との距離の遠くなつた廢兵群に當ります。即ち無宿者と呼ばれる人の中には完全な労働豫備群として何時にても召集に應じ得る人々以外の、虚弱な榮養不良に悩む國民兵群で、他に第一線へ送る者がなくなつたときに充員召集を命ぜられたり、現役群を使用するには勿體ないと思はれる仕事があるときにのみ臨時召集を命ぜられる者や、其他第一線から後送された傷病兵群や不具者や不具に近い廢兵群に屬する人々が含まれて居る理であります。

(六)ノ二

職業は神聖で上下もなく軽重もありませぬが、教員や醫師や電気技師や機械技師等の職業、辯護士、建築技師、自動車運轉手等は智能、學力、素養、經驗等が無くしては出來ませぬし、これ等の中には免許状無しでは許されない職業もあります。これ等に比較致しますると世の中には老人で

も、病弱者でも、少々低脳のものでなし得る簡易な職業
があります。無宿者と呼ばれる人々、ルンペンと呼ばれる
人々の中にはこれ等の何人にもなし得る簡易な職業に従
事する人が大半であると云ふことが出来ます。

(七)

最後に此等慢性的無宿者に對し『何故無宿生活から更生
出来ないか？ 何故職業に就けないか？』をお尋ね下さる
方がありまするならば、保證人がないから雇つて呉れませ
ぬ。衣類がないから雇つてやると云ふ人があつても今直に
就職出来ませぬ。給料日まで生活を支へる餘裕がないから
何とも致し方がありません。病氣で仕事が出来ませぬ。不
具だから人様の同情に依らなければ生活出来ませぬ。手に
職がありません。年を取つて居るから雇う人がありませ
ぬ。世の中に人間が多過ぎるからだと思ふます、と返事をし
なければならぬものばかりでありますこと、特に身
頼も保證人も無いものが大半であることをお答して、更に
大阪市では自由労働者の爲に工事現場に於ける傷害共済を
行つて居ると云ふこと、別に互助會を設けて病氣のとき
に見舞金を支出したりして温い家庭的な援助をなすつゝあ

るといふこと、及び常備者の爲に信用及健康共済を行つて
居ると云ふことはまことに有難いことであると云ふことを
附加して、郷里の小學校に奉職して居る親しい友からの無
宿者の職業に關する御尋の手紙に對する筆を擱かして戴き
ます。
偉そうな書き振りや口調は、親しい友への手紙なのと、
仲間の無宿者達が元氣に無宿者の爲に書いて呉れとの希望
からです。勿論教養の足りないことがそのまゝ文に現れて
居るので慚愧に耐へませぬが此の次からは氣を附けますか
ら此度だけは御赦し願ひたいと存じます。決して偉そうに
思つたり、偉さうに見たいのではありません。田舎の
少年や都會の私達を保護して下さい下さる方々に訴へたい氣持で
一杯なのです

生 育 家 庭 の 職 業

職業	人員	職業	人員
自然的職業	三七七	職工	五三
官吏其他	四一	大工	一七
金貸、ブローカー等	一〇	飲食店雇人	三
商人	一一八	潜水夫其他	四
行商	一五	力士遊藝人	五

製造業

計 前 職 業 調

日 稼 六 四

浮浪期間

人員 備考

人員 計 前 職 業 調

自然を相手とする職業 一四五 二〇 %

日稼の人夫、手傳等 一九〇 二六

職工(不熟練工を含む) 一七五 二四

大工、左官、石工 二五 三

飲食店雇人 五三 七

店員 三一 四

商人 三七 五

官吏、會社員等 二八 四

行商 二四 三

其他 三二 三

計 七四〇 一〇〇

人員 計 前 職 業 調

一ヶ月以内 五九三 八〇 %

一ヶ月以上 六一 八

一ヶ年以上 八六 一二

一ヶ年以上 六五四 八八

一ヶ年以上 八六 一二

計 七四〇 一〇〇

現在の職業調

人員 計

人員 計

求職中のもの(無いもの) 二三四 三二 %

職業とは云ひ難いもの 三〇一 四一

體力が資本のもの 一八七 二五

汚穢なる仕事 一四 二

収入の少い行商人 四 一

計 七四〇 一〇〇

人員 計 前 職 業 調

一ヶ月以内 二〇日以内 三 五ヶ年以内 六

一ヶ月以上 二十日以上 七 六ヶ年以内 五

一ヶ年以上 一ヶ月以内 八 七ヶ年以内 三

一ヶ年以上 三ヶ月以内 九 八ヶ年以内 五

一ヶ年以上 六ヶ月以内 六 九ヶ年以内 三

一ヶ年以上 一ヶ年以内 四 十ヶ年以内 三

一ヶ年以上 二ヶ年以内 二 十ヶ年以上 一

一ヶ年以上 三ヶ年以内 三 計 七四〇

一ヶ年以上 四ヶ年以内 三 計 七四〇

浮浪期間調

人員 計

人員 備考

求職中のもの(無いもの) 二三四 三二 %

職業とは云ひ難いもの 三〇一 四一

體力が資本のもの 一八七 二五

汚穢なる仕事 一四 二

収入の少い行商人 四 一

計 七四〇 一〇〇

人員 計 前 職 業 調

一ヶ月以内 二〇日以内 三 五ヶ年以内 六

一ヶ月以上 二十日以上 七 六ヶ年以内 五

一ヶ年以上 一ヶ月以内 八 七ヶ年以内 三

一ヶ年以上 三ヶ月以内 九 八ヶ年以内 五

一ヶ年以上 六ヶ月以内 六 九ヶ年以内 三

一ヶ年以上 一ヶ年以内 四 十ヶ年以内 三

一ヶ年以上 二ヶ年以内 二 十ヶ年以上 一

一ヶ年以上 三ヶ年以内 三 計 七四〇

一ヶ年以上 四ヶ年以内 三 計 七四〇

人員 計 前 職 業 調

一ヶ月以内 二〇日以内 三 五ヶ年以内 六

一ヶ月以上 二十日以上 七 六ヶ年以内 五

一ヶ年以上 一ヶ月以内 八 七ヶ年以内 三

一ヶ年以上 三ヶ月以内 九 八ヶ年以内 五

一ヶ年以上 六ヶ月以内 六 九ヶ年以内 三

一ヶ年以上 一ヶ年以内 四 十ヶ年以内 三

一ヶ年以上 二ヶ年以内 二 十ヶ年以上 一

一ヶ年以上 三ヶ年以内 三 計 七四〇

一ヶ年以上 四ヶ年以内 三 計 七四〇

